

Solomianskyi district



シリーズ第3弾 「ウクライナの建築と文化を学ぶ」

講演内容：ウクライナの復興に、日本の『建築士』の知恵を。
－2025年、現地で見た再生への渴望－

建築士の仕事は、建物という箱をつくることでしょうか？ 2025年7月、実際にウクライナの地に立った講師が見たのは、物理的な破壊だけでなく、積み上げられた文化や日常が断絶された姿でした。日本の建築士が持つ、建築技術、まちづくりノウハウ、そして『場』を再生する力。これらをどう現地の復興支援に結びつけられるのか。メディアだけの情報ではなく、現場の空気を感じた一級建築士と共に、私たちの『職能』が持つ可能性を議論しましょう。

2026年
3月23日（月）

時 間：18:00～20:00（受付 17:45～）

場 所：大阪府建築士会 東会議室
大阪府大阪市 中央区谷町3丁目1-17

定 員：30名

参加費：会員 1,000円（非会員 2,000円）

CPD：2単位

申込方法：下記 URL もしくは右記 QR コードより
お申込みください。



松富謙一／一級建築士
CASEまちづくり研究所代表



※決済、お振込み後の参加費は返金できません。ご了承の上お申し込みください！

申込先：公益社団法人大阪府建築士会 事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

TEL：06-6947-1961 FAX：06-6943-7103

Eメール：info@aba-osakafu.or.jp



主 催：公益社団法人 大阪府建築士会 一般社団法人 大阪府建築士事務所協会
後 援：(予定) 公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部 一般社団法人 日本建築協会